

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課は、生涯にわたる健康づくりを推進するため、管内4市や関係機関と連携し、母子保健事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、肝炎治療特別促進事業、難病対策事業等を専門的・広域的に取り組んでいる。

平成29年度、母子保健分野では、翌平成30年度から管内市において産後ケア事業を開始するための連絡調整会議等を実施し、管内における調整役として取り組んだ。

1 保健師関係指導事業

地域保健課、疾病対策課、総務企画課に配置されている保健師の活動の調整や管内保健師業務連絡研究会等を開催し、保健師活動の推進及び資質の向上を図った。

(1) 管内概況

管内保健師の就業数は横ばい傾向である。配置状況は、「保健衛生」部門が最も多く、「その他」の多くは「国民健康保険」部門の配置である。

表1－(1) 管内保健師就業状況(平成29年4月1日現在)

(単位：人)

区分 年度	総数	保健所	市町村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成27年度	86	12	47	6	13	8
平成28年度	85	11	51	5	11	7
平成29年度	84	11	53	5	10	5
木更津市	23	—	18	1	2	2
君津市	20	—	13	3	2	2
富津市	13	—	11	0	1	1
袖ヶ浦市	17	—	11	1	5	0

(2) 保健所保健師活動

保健所保健師は専門的・広域的な活動を中心に事業を実施し、各市や関係機関と連携を図りながら活動を展開した。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（平成30年3月31日現在）

(単位：件)

種別	区分	家庭訪問		訪問以外の保健指導			個別の連携 ・連絡調整	
				面接		電話		メール
		実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数（再掲：会議）
総数		117	196	798	1,052	883	27	387(114)
感染症		7	9	2	2	10	—	42(4)
結核		37	107	163	299	396	25	292(107)
精神障害		17	17	18	28	134	1	15(3)
長期療養児		—	—	2	4	—	—	—
難病		11	18	388	391	4	—	18(—)
生活習慣病		—	—	—	—	—	—	—
その他の疾病		—	—	12	16	13	—	2(—)
妊産婦		—	—	—	—	—	—	—
低出生体重児 (未熟児)		—	—	—	—	—	—	—
乳幼児		—	—	1	1	—	—	—
その他		45	45	212	311	326	1	18(—)
訪問延世帯数		88	147					

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

地域保健課、疾病対策課、総務企画課に配置されている保健師の活動の調整や管内保健師業務連絡研究会等を開催し、保健師活動の推進及び資質の向上を図った。

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
平成29年 9月19日	母子保健	講演 「新生児・幼児の聴覚検査、小児科の耳鼻科疾患について」 講師 千葉県こども病院 診療部長 仲野 敦子 氏(医師) 千葉県児童家庭課母子保健班	28
平成29年 12月20日	成人保健	講演 「対応の難しい方への接し方」 講師 亀田総合病院 臨床心理室 室長 富安 哲也 氏(臨床心理士)	14

イ 所内保健師研究会

表1－(3)－イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
平成29年 5月23日	1 平成29年度所内保健師研究会について 2 平成29年度事業計画について 3 現任教育について	9
6月15日	1 現任教育について 2 保健師業務集録の検討 3 その他	8
10月2日	1 現任教育について（中間評価） 2 保健師業務集録の検討（進捗状況） 3 伝達講習（現任教育）	9
10月16日	1 保健師業務集録の検討（進捗状況）	9
11月16日	1 保健師業務集録の検討（進捗状況）	9
平成30年 2月27日	1 現任教育について（最終評価） 2 伝達講習（中堅前期保健師研修会） 3 平成29年度事業評価及び平成30年度事業計画	9

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1－(3)－ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
—	平成29年度は担当保健所ではないため実施なし	—

エ その他

上記以外に行っている研修会等があれば記載する。

表1－(3)－エ その他

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
—	—	—

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
—	—	—

2 母子保健事業

平成17年8月23日雇児発「母子保健医療対策総合支援事業の実施について」に基づき、平成30年度からの産後ケア事業実施に向け、推進連絡調整会議等が保健所において初めて実施された。

思春期保健では、平成28年度まで君津市をモデル地区として教育、保健関係者とともに中学生を対象にした、性の健康教育に関して検討会、健康教育を実施したが、平成29年度からは管内市を対象を広げている。

不妊相談センターとして、不妊に悩む夫婦の相談を実施。関連した講演会を実施し不妊に関する知識の啓発に努めた。

(1) 母子保健推進協議会

各市の母子保健施策を効果的に推進するため、市・医師会・助産師会・養護教諭会・児童相談所・住民代表等から構成される協議会を開催し、管内の母子保健に関する課題について協議した。

表2－(1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
平成30年 2月15日	13	報告事項 (1) 管内の母子保健の現状 (2) 君津健康福祉センターの母子保健事業について (3) 各市の妊娠期から乳幼児期の母子保健事業について 協議事項 (1) 命の大切さを育む事業について (2) 未成年を中心としたたばこ対策について

(2) 産後ケア連絡調整会議

平成30年度からの産後ケア事業実施に向け、4市担当者及び管内産科医療機関との産後ケア推進連絡調整会議等が保健所において初めて実施された。

表2－(2) 産後ケア連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
平成29年 8月31日	14名	担当者会議：連絡調整会議に向けて
10月26日	25名	連絡調整会議： 1 産後ケア事業ガイドラインの概要について 2 各市の産後ケア事業の方向性について 3 君津市における産後ケア事業の実際について
12月21日	8名	担当者会議：産後ケアの実際、現状について
平成30年 1月22日	10名	担当者会議：連絡調整会議に向けて
2月15日	22名	連絡調整会議： 1 平成30年度から君津地域で行う産後ケア事業について 2 産後ケア事業に関する平成30年度契約について
2月21日	10名	担当者会議：平成30年度に向けて

(3) 母子保健関係研修会

管内を中心とした母子保健関係者に対し研修を行い、保健等従事者の資質向上を目指すために毎年実施している事業である。

表2－(3) 母子保健関係研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
新生児妊産婦訪問指導従事者研修会	平成29年 10月18日	17名 君津・市原・安房健康福祉センター管内の保健師・助産師	講演「妊婦の精神疾患の理解と対応」 講師 千葉県精神保健福祉センター 主幹兼臨床検査課長 石川 真紀 氏 講演「管内の自殺の現状と精神障害が疑われる方への地域支援について」 講師 千葉県精神保健福祉センター 精神保健福祉相談員 堀 いぶき 氏 報告説明「市町村計画の策定について」 君津健康福祉センター
アレルギー疾患に関する講演会	平成29年 9月25日	52名 保育士・幼稚園教諭・栄養士	講演 子どものアレルギー対応を考える～食物アレルギーを中心に～ 講師 昭和女子大学 准教授 原 正美 氏

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条により、医師から届出がされた人工妊娠中絶実施報告に基づいた状況は表2-(4)のとおりである。

表2-(4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	平成 27 年度	平成 28 年度	平成29年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 歳 ～ 24	25 歳 ～ 29	30 歳 ～ 34	35 歳 ～ 39	40 歳 ～ 44	45 歳 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	378	351	333	25	70	59	73	70	31	5	0	0
満7週以前	215	188	197	14	35	34	47	46	19	2	0	0
満8週～満11週	142	138	122	7	31	25	22	23	11	3	0	0
満12週～満15週	10	8	8	3	1	0	2	1	1	0	0	0
満16週～満19週	8	12	5	0	3	0	2	0	0	0	0	0
満20週～満21週	2	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
不 詳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）の対象者に費用の一部を助成する。

平成28年1月20日より治療開始の者は初回助成額が30万円まで拡大され、男性不妊治療も助成対象となった。

平成28年4月1日から新制度が完全施行となり、対象年齢、助成回数が変更となった。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2－(5)－ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年 度	実 件 数	延 件 数	延件数内訳			
			体外受精	顕微授精	男性不妊	そ の 他
平成27年度	191	313	84	107	－(2)	122
平成28年度	161	281	82	103	2(1)	94
平成29年度	182	300	93	88	－(2)	119

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

イ 不妊専門相談センター事業

表2－(5)－イ－(ア) 不妊相談実施状況

年度	回数	相談者数（専門医）	相談者数（保健師等）	
			随時	
平成27年度	2	4		4
平成28年度	3	4	随時	10
平成29年度	3	4		6

表2－(5)－イ－(イ) 不妊講演会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	対 象	参加者数
平成29年12月20日	講演 命の源 38億年前に始まった性は命の源！ 講師 重城産婦人科・小児科 院長 重城 利國氏（医師）	千葉県袖ヶ浦高等学校 生徒 教職員	814人

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

平成27年1月1日から児童福祉法の改正により同法第19条の2他の規定に基づき小児慢性特定疾病医療費の支給認定の対象となる慢性疾患が14疾患群704疾病に拡大された。疾病数はその後も追加されている。受給状況をみると過去3年間を比較して、受給者全体の増減はみられていない。

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況（各年3月31日現在）

(単位：件)

疾 患 名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
総 数	190	187	194	73	44	22	55
1 悪性新生物	28	32	28	4	7	2	15
2 慢性腎疾患	31	24	24	9	8	2	5
3 慢性呼吸器疾患	5	6	8	3	3	1	1
4 慢性心疾患	25	27	28	14	5	4	5
5 内分泌疾患	40	38	43	14	7	8	14
6 膠原病	3	4	5	1	1	1	2
7 糖尿病	16	14	13	5	2	1	5
8 先天性代謝異常	5	6	6	4	－	－	2
9 血液疾患	3	3	2	1	1	－	－
10 免疫疾患	1	1	2	1	1	－	－
11 神経・筋疾患	11	11	12	4	3	－	5
12 慢性消化器疾患	19	17	19	11	4	3	1
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	－	1	1	1	－	－	－
14 皮膚疾患	3	3	3	1	2	－	－

(7) 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

児童福祉法第 19 条の 22 の規定に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療育を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾患児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行った。また、関係機関との連絡調整や支援のための事業を推進している。

ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表 2 - (7) - ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・内訳	内 容
思春期にある 糖尿病患者児の 自立心の育成 相談・交流会	平成 29 年 8 月 25 日	3 名	講話 思春期の血糖コントロールや病気の付き合い方 講師 君津中央病院糖尿病認定看護師 伊藤 千穂 氏 講話 思春期の心について 講師 臨床心理士 坂本 容子 氏

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表 2 - (7) - イ 療育相談指導内容

(単位：人)

内 容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
相 談 者 数 (延)	—	—	—
家 庭 看 護 指 導	—	—	—
食 事 ・ 栄 養 指 導	—	—	—
歯 科 保 健 指 導	—	—	—
福 祉 制 度 の 紹 介	—	—	—
精 神 的 支 援	—	—	—
学 校 と の 連 絡	—	—	—
家 族 会 等 の 紹 介	—	—	—
そ の 他	—	—	—

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2-(7)-ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾患名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総数	10	2	—
先天性中枢性低換気症候群	3	2	—
気道狭窄症・気管狭窄症	5	—	—
表皮水泡症	1	—	—
ヒルシュスプルング病	1	—	—

エ 窓口相談事業

表2-(7)-エ 相談内容 (単位:人)

内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度
相談者数(延)	15	11	4
申請等	15	6	3
医療	—	—	1
家庭看護	—	2	—
福祉制度	—	—	—
就業	—	—	—
就学	—	—	—
食事・栄養	—	—	—
歯科	—	—	—
その他	—	3	—

オ 訪問相談員派遣事業

表2-(7)-オ 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人数	回数	実人員	延人員
平成27年度	—	—	—	—
平成28年度	—	—	—	—
平成29年度	—	—	—	—

(8) 療育の給付制度

結核治療のために指定医療機関で入院した18歳未満の方を対象に、療養生活に必要な日用品等の費用を所得に応じて一部負担する制度。今年度の申請はなかった。

(9) 思春期保健相談事業

命の大切さを育む事業として助産師による中学生の性に関する健康教育に取り組んだ。思春期の子供の健全な発育と発達を目指し、思春期相談として臨床心理士並びに保健師による個別相談を実施した。

表2- (9) -ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容
—	—	—	—

表2- (9) -イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	対象者・参加者数	内 容
思春期保健事業	平成29年 7月6日	中学2,3年生 373人 生徒・教員	講演「自分と相手を大切にすることってどういうこと？」 講師：こころ助産院 吉原 幸子 氏
思春期保健事業	平成29年 7月14日	中学3年生 156人 生徒・教員	講演「つながっているいのち」 講師：MOMOKO助産院 安達 桃子 氏
思春期保健事業	平成29年 12月13日	中学1,2年生 193人 生徒・教員	講演「つながっているいのち」 講師：MOMOKO助産院 安達 桃子 氏
思春期保健事業	平成30年 3月6日	中学3年生 56人 生徒・教員	講演「選ぶ」 講師：キミツナカノ助産院 小柴 和子 氏
命の大切さを育む事業	平成29年 5月30日	中学2年生 75人 生徒・教員・市保健師	講演「いのちを守り、育む」 講師：川島助産院 川島 広江 氏
命の大切さを育む事業	平成29年 6月30日	中学3年生 89人 生徒・教員	講演「大切にしたい ころとカラダ」 講師：ねむねむ助産院 根岸 雄子 氏
命の大切さを育む事業	平成29年 9月15日	中学3年生 180人 生徒・教員	講演「大切にしたい ころとカラダ」 講師：ねむねむ助産院 根岸 雄子 氏
命の大切さを育む事業	平成30年 1月30日	中学2年生 11人 生徒・教員	講演「知っておきたい自分の心とカラダ」 講師：ねむねむ助産院 根岸 雄子 氏

表2－(9)－ウ 思春期相談

(単位：人)

年度	回数	指導数		内容
		実数	延数	
平成27年度	10	8	14	臨床心理士による相談
平成28年度	12	9	19	
平成29年度	12	7	22	

(10) 乳幼児救急医療講習会

乳幼児はその発達段階により想定される事故が予測される。未然に事故を予測し、環境整備や対応を図ることで事故を予防することを目的に、関係機関職員に対し研修会を実施した。

表2－(10) 乳幼児救急医療講習会実施状況

研修会の名称	開催年月日	対象者・参加者数	内容
乳幼児救急法講習会	平成29年 6月20日	48名 保育士・幼稚園教諭・ 施設職員・保健師	講話及び実技 「一次救命処置方法の実践」 講師 赤十字幼児安全法指導員 林 和子 氏

(11) NICU連絡会議

君津中央病院、管内各市、君津健康福祉センター、市原市、市原健康福祉センターが参加し事例検討も含めた連絡会議を年3回開催した。

連絡会議の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
NICU 連絡会議	平成29年6月22日	19人 医師・看護師・市保健師・保健所保健師	(1) 1歳児の状況
	平成29年10月26日	18人 医師・看護師・市保健師・保健所保健師	(2) 新生児外来フォローアップで気になる症例
	平成30年2月22日	18人 医師・看護師・市保健師・保健所保健師	(3) 事例検討 (4) その他

3 成人・老人保健事業

介護老人施設の实地指導を監査指導課とともに実施した。
がん検診の充実・強化を図ることを目的に、管内4市のがん検診一覧表を作成し、職域へ紹介し、受診を勧奨した。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設9施設・訪問看護ステーション15施設がある。

(地域資料編に記載のとおり)

ア 介護老人保健施設实地指導

千葉県老人保健施設实地指導要綱に基づき、1施設について实地指導を行った。

表3- (1) -ア 介護老人保健施設实地指導状況

実施年月日	介護老人保健施設
平成30年2月5日	メディケアやまゆり

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等(以下「推進員等」という。)に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

表3- (2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
—	—	平成29年度は担当保健所でないため実施なし

(3) その他のがん対策事業

がん検診事業の充実・強化を図ることを目的に、管内4市のがん検診一覧表を作成し、職域へ紹介し、受診勧奨した。

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確かな自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的に事業を実施した。

(1) 健康教育事業

地域で心の病を支える会の参加者を対象に、ロコモティブシンドローム及び腰痛予防に関する講演及び実技を内容とした健康教育事業を実施した。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
平成29年7月12日	講演及び実技 「ロコモ予防と腰痛予防」	17人

(2) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象に、保健師等が電話相談に応じた。

表4－(2) 健康相談実施状況(電話)

(単位：件)

年度 \ 区分	男	女	総数
平成27年度	29	52	81
平成28年度	26	55	81
平成29年度	16	50	66

5 総合的な自殺対策推進事業

自殺対策の一環として、市職員及び健康福祉センター職員を対象に、研修会を開催した。
また、「うつ病体験者と家族のつどい」等自助グループの育成支援を行った。

(1) 住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表5－(1) 研修会の実施状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
地域における自殺対策推進のための研修	平成29年10月18日	26人 市職員、千葉県助産師会、健康福祉センター職員	①講演：「管内（市原・安房・君津）の自殺の現状と精神障害が疑われる方への地域支援について」 講師：千葉県精神保健福祉センター 堀 いぶき 氏 ②その他（情報提供）「市町村計画の策定に向けて」

(2) その他の会議等

表5－(2) 会議等の開催状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
うつ病体験者と家族のつどい	月1回	実8人、延18人 当事者及び家族	当事者及びその家族が本音で悩みや思いを語り合うことで、孤立化を防ぐための支援を行った。

(3) その他の事業

実施なし。

6 地域・職域連携推進事業

生涯を通じた継続的な健康管理を支援することを目的に、地域保健と職域保健が連携し、地域の課題である「総合的なたばこ対策」について平成26年度から3か年で取り組んだ。その結果、さらなる事業の推進が必要であるため、平成29年度から4か年計画で第2次「総合的なたばこ対策」に取り組むこととし、協議会、作業部会において協議し、共同事業を実施した。

表6－(1) 君津地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成29年9月21日	24	1 「総合的なたばこ対策」(平成26～28年度)の取組み及び第2次「総合的なたばこ対策」(平成29～32年度)の実施計画について 2 平成29年度の各機関における実施計画(具体的な取組みについて)

表6－(2) 君津地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成29年6月12日	20	1 「総合的なたばこ対策」(平成26～28年度)の取組みについて 2 第2次「総合的なたばこ対策」(平成29～32年度)の推進計画について (1)平成29～32年度の計画について (2)平成29年度の具体的な取組みについて

表6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
1 講演会 平成29年8月30日 9月5日	対象：労働衛生週間説明会参加者 参加人数：240人、137人 計 377人 内容：喫煙及び受動喫煙の害、家庭と事業所における受動喫煙防止対策、禁煙について
平成29年12月1日	対象：理容講習会参加者 参加人数：126人 内容：たばこに関する健康講話、受動喫煙防止対策協力施設の登録推進
平成30年1月30日 3月6日	対象：中学生 参加人数：16人、55人 計 71人 内容：喫煙の害について
2 啓発活動 平成29年7月2日 9月10日 10月21日	対象：住民 参加人数：103人、126人、184人 計 413人 内容：たばこに関する知識クイズ
3 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策推進協力施設登録推進のための普及・啓発活動 ・がん検診案内作成、配布 ・調査 事業所の受動喫煙防止対策実施率 管内の喫煙外来実施状況 学校における防煙教育実施状況

7 栄養改善事業

広域的・専門的な知識と技術を活かした栄養指導を実施するとともに、給食施設従事者・栄養関係団体に対して研修会を開催し、健康づくりの支援と取り組み強化を図った。

また、地域における栄養改善事業を効果的に推進するため、管内行政栄養士業務検討会を開催し、管内4市との連携体制づくりに努めた。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

住民の生活習慣病予防及び健康づくりのために、地域における健康づくり推進事業として研修会を開催し、正しい知識の普及・啓発に努めた。

病態栄養教室としては、脊髄小脳変性症の患者及び家族を対象に、飲み込みやすい食事方法について講演をし、よりよい療養生活を送ることができるよう支援した。

また、健康増進法に基づき、国民健康・栄養調査を実施した。

表7-（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員							集団指導延人員							
		栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	(再掲)訪問による栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦															
	乳幼児				/	/	/	/			/	/	/	/		
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)															
	20歳以上 (妊産婦を除く)	31	4	27						1,255	12					
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦															
	乳幼児				/	/	/	/			/	/	/	/		
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)															
	20歳以上 (妊産婦を除く)															

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況 (単位：人)

区分 種別	計	生活 習慣病	難 病	アレルギー 疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	4	-	-	-	-	-
病態別運動指導	-	-	-	-	-	-

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
脊髄小脳変性症の患者と家族のつどい	平成29年 7月7日	脊髄小脳変性症患者とその家族	12	講演 「安心・安全な食事のとり方」 ～飲み込みやすい食事方法について～ 講師 君津中央病院 管理栄養士 船橋寿恵 氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
地域における健康づくり研修会	平成30年 2月2日	管内給食施設(事業所・寄宿舎・自衛隊)給食管理者・栄養士・調理従事者、管内健康ちば協力店 店主・従業員、管内食生活改善協議会会員、木更津調理師会会員、管内栄養士協議会会員、各市健康づくり担当課 職員等	53	講演「魅力ある献立とは？」 ～色・味・調理法の組み合わせから考える～ 講師 淑徳大学 栄養学科 教授 石井 克枝 氏

エ 国民(県民)健康・栄養調査

表7- (1) -エ 国民(県民)健康・栄養調査状況

調査名	調査地区(対象)	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	木更津市大久保地区 (13世帯27人)	平成29年11月7日、8日 栄養摂取状況調査・生活習慣調査・身体状況調査

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7- (1) -オ- (ア) 食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		実相談 食品数	延相談 件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		- ()	- ()	- ()	- ()	-
食品表示基 準について (保健事 項)	栄養成分	3	3	-	-	-
	特定保健用食品	-	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-	-
	その他※	1	1	-	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-	-	-	-
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)	
特別用途食品及び特定保健用食品について		- ()	- ()	- ()	- ()	- ()
食品表示基 準について (保健事 項)	栄養成分	-	-	7	523	-
	特定保健用食品	-	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-	-
	その他※	-	-	-	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-	-	-	-

() 内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合(特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く)

表7- (1) -オ- (イ) 食品表示等に関する指導状況 (表示違反への対応)

		指導状況 (個別)	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について (保健事項)	栄養成分※	- ()	- ()
	機能性表示食品	-	-
	-	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む () 内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(ウ) 特別用途食品許可取り扱い件数(単位:件)

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	－ (－)
消滅事由該当届出数	－ (－)
申請・表示事項変更届出数	－ (－)

() 内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数(単位:件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
－ (－)	－ (－)	－ (－)

() 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－(1)－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
－	－	－	－	－

(2) 給食施設指導

管内給食施設 191 施設に対し、より良い給食の提供を目的に栄養管理及び衛生管理について栄養指導員と食品衛生監視員で個別巡回指導を行った。

また、給食施設管理者及び従事者を対象に、栄養管理及び衛生管理に関する研修会を開催し、給食運営の充実を図った。

管内給食施設の 100% で栄養成分表示を実施し、利用者に健康や栄養に関する情報提供を行った。

給食施設状況

表7- (2) 給食施設状況 (単位: 件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士 栄養士どちらも いる施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いない施設	管理栄養士 必置指定 施設		栄養 成分 表示 施設	栄養 教育 実施 施設
	施 設 数	管理 栄養 士数	施 設 数	管理 栄養 士数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数		施 設 数	管理 栄養 士数		
191	42	54	40	84	62	53	67	56	4	20	191	137

ア 給食施設指導状況

表7- (2) -ア 給食施設指導状況 (単位: 件)

区 分		計	特定給食施設		その他の 給食施設	
			1回300食 以上 又は 1日750食 以上	1回100食 以上 又は 1日250食 以上		
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	114	19	69	26
		その他指導施設数	293	58	138	97
	喫食者への栄養・運動指導延人員		—	—	—	—
集団指導	給食管理指導	回 数	3	3	3	3
		延施設数	290	64	144	82
	喫食者への 栄養運動指導	回 数	—	—	—	—
		延人員	—	—	—	—

イ 給食施設個別巡回指導

表7- (2) -イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない施設数		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合計	191	114	42	28	40	29	53	24	56	33	
指定施設①	計	4	4	1	1	3	3				
	学校										
	病院	3	3			3	3				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設	1	1	1	1						
	事業所										
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
一般給食センター											
その他											
300食/回, 750食/日以上①	計	23	12	11	6	3	3	8	2	1	1
	学校	16	8	7	5	2	2	7	1		
	病院										
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	4	1	4	1						
	寄宿舎	1	1			1	1				
	矯正施設										
	自衛隊										
一般給食センター	1	1					1	1			
その他	1	1								1	
100食/回, 250食/日以上 (①除く)	計	93	62	21	17	20	15	25	14	27	16
	学校	10	5	3	2			4	1	3	2
	病院	5	5	1	1	3	3	1	1		
	介護老人保健施設	9	8	4	3	5	5				
	老人福祉施設	15	10	6	5	8	5	1			
	児童福祉施設	25	20	6	5	1	1	13	10	5	4
	社会福祉施設	4				2		2			
	事業所	10	3					2		8	3
	寄宿舎	11	7					1	1	10	6
	矯正施設										
	自衛隊	1	1	1	1						
一般給食センター											
その他	3	3			1	1	1	1	1	1	
その他の給食施設	計	71	36	9	4	14	8	20	8	28	16
	学校	4		2				1		1	
	病院	11	11	1	1	7	7	2	2	1	1
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設	10	5	2		3	1	4	2	1	2
	児童福祉施設	28	12	3	3			8	2	17	7
	社会福祉施設	7	1			4		3	1		
	事業所	3	1							3	1
	寄宿舎	5	5							5	5
	矯正施設										
	自衛隊	2		1				1			
一般給食センター	1	1					1	1			
その他											
※施設に出向き個別指導した件数を記入する。											
※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については、「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。											

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	4	8	39
指導数	4	8	39

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設管理者・ 従事者研修会	平成29年 6月6日	管理者、管理栄養士・ 栄養士・調理従事者等	187	<p>1 講話 「給食施設における衛生管理について」 講師 君津健康福祉センター (君津保健所) 食品機動監視課 課長 竹田 雅一氏 副主幹 吉原 博邦氏</p> <p>2 説明 「食品の新しい表示について」 君津健康福祉センター (君津保健所) 地域保健課 上席専門員 苅草 宏子氏</p> <p>3 その他 ・H29年度食中毒警報等の発令に伴う伝達について ・特定給食施設等の給食運営方式及び受託者変更について ・給食運営現況報告書の記入上の注意点について</p>
給食施設管理者 研修会	平成29年 10月17日	管理者、管理栄養士、 栄養士、その他給食関係者	132	<p>1 講話 「給食施設栄養管理報告書を活用した給食管理の基本」 講師 女子栄養大学 栄養学部 給食管理研究室 教授 石田 裕美氏</p> <p>2 情報提供 「大量調理施設衛生管理マニュアルの改正点について」 君津健康福祉センター (君津保健所) 食品機動監視課 副主幹 吉原 博邦氏</p> <p>3 その他 ・特定給食施設等における栄養管理について ・給食施設栄養管理状況報告書について</p>

名 称	開催年月日	対象者	参加者数	内 容
職域別（事業所・寄宿舍域）給食担当者研修会	平成30年3月1日	事業所・寄宿舍の管理者、栄養士、調理従事者	21	講演「生活習慣病を改善する効果的な運動指導」 ～生活習慣病に対する運動療法をすすめる時に考えること～ 講師 浦和大学 総合福祉学科 長阪 裕子 氏

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7－(3)－ア 健康ちば協力店登録状況

29年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
2	－	－	114 (内取消0)	114

表7－(3)－イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区 分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回 数	延人員	回 数	延店舗数	延人員	回 数	延人員
個別指導	－	－	－	－	－	－	－
集団指導	4	89	－	2	3	2	34
合 計	4	89	－	2	3	2	34

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7- (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
君津保健所管内食生活改善協議会	148	研修会の開催	1 研修会の開催への支援 2 役員会の開催への支援 3 総会の開催への支援	109
君津保健所管内栄養士協議会	170	1 木更津市生涯学習フェスティバルでの栄養改善・健康増進に関する知識の普及啓発及び栄養相談等 2 研修会の開催	1 研修会の開催への支援 2 役員会の開催への支援 3 総会の開催への支援 4 木更津市生涯学習フェスティバル参加への助言	430
木更津調理師会	50	1 研修会の開催 2 健康ちば協力店の登録推進	1 千葉県調理師講習会への支援 2 総会への出席	51

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7- (5) -ア 市町村への技術支援、助言

名称	開催月日	対象者	参加者数	内容
木更津市健康づくり推進協議会	平成29年 7月25日	所長	1	1 木更津市の健康課題と第3次健康きさらづ21の進捗状況について 2 各部会からの報告
君津市健康づくり推進協議会	平成29年 7月19日	所長	1	1 第2次健康きみづ21について 2 平成28年度実績報告及び平成29年度進捗状況について 3 その他
富津市健康づくり推進協議会	平成29年 7月24日	所長	1	1 平成28年度事業実績について 2 平成29年度事業について

表7- (5) -イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名称	延回数	延参加人員	主な内容
君津保健所管内行政栄養士業務検討会	3	25	業務検討 ・1歳6か月及び3歳児検診健康診査の問診票よりわかる生活習慣や食習慣・健康状況について ・食生活改善協議会の育成のあり方について ・市町村災害マニュアルの中での行政栄養士の位置づけ 情報提供 ・食品表示法の解釈について

(6) 調理師試験及び免許関係

表7- (6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成27年度	105	53	50.5	81	16	22
平成28年度	90	61	67.8	87	18	33
平成29年度	68	49	72.1	73	19	28

(7) その他(各保健所の独自事業)

君津保健所管内保育所(園)・幼稚園栄養業務連絡会

給食施設として届出のある管内の保育所(園)及び幼稚園の栄養士を対象に、小児の生活習慣病予防と保育所(園)・幼稚園の栄養指導業務の円滑な運営を図るために、栄養業務連絡会を開催している。

平成29年度は、各給食施設における栄養指導や食育についての業務検討や情報交換、また食育媒体の作成を行なった。保育所(園)・幼稚園の感染症対策についても情報提供を行った。

表7- (7) 君津保健所管内保育所(園)・幼稚園栄養業務連絡会実施状況

事 業 名	回数	内 容	参加人員
管内保育所(園)・幼稚園 栄養業務連絡会	4	1 講演「子どものアレルギー対応を考える」 ～食物アレルギーを中心に～ 2 情報提供 「保育所(園)・幼稚園における感染症対策について」 3 業務検討 栄養管理状況報告書の作成から把握した課題と対応 4 食育媒体(食育クイズ)の更新	97

8 歯科保健事業

難病及び障害のある方等に対して、歯・口腔の健康を維持し、嚙む、飲み込むことへの支援をすることを目的に講演会等を実施する。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表8- (1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
—	—	—	—	—

(2) その他（各保健所の独自事業）

表8- (2) その他（各保健所の独自事業）

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
—	—	—	—	—

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

県内では比較的精神科病床の少ない地域だが、入院患者の8割強が管内精神科病院へ入院している。

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（平成29年6月30日現在）

(単位:件)

区分 年度	管内人口	精神科病院数	病床数	人口万対病床数	県内病院への入院患者数	人口万対入院患者数	管内の患者の入院先（再掲）					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							数	%	数	%	数	%
平成27年度	325,705	2	606	18.6	508	15.6	411	80.9	-	-	97	19.1
平成28年度	326,296	2	587	18.0	506	15.5	414	81.8	-	-	92	18.2
平成29年度	325,628	2	587	18.0	507	15.6	412	81.3	-	-	95	18.7
木更津市	135,064	1	369	27.3	192	14.2	167	87.0	-	-	95	18.7
君津市	84,534	-	-	-	122	14.4	105	86.1	-	-	17	13.9
富津市	44,584	-	-	-	112	25.1	76	67.9	-	-	36	32.1
袖ヶ浦市	61,446	1	218	35.5	81	13.2	64	79.0	-	-	17	21.0
県全体	6,254,216	52	12,477	19.9	8,754	14.0	5,305	60.6	-	-	2,295	26.2

(注) 1 人口は、各年7月1日現在。(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－（1）－イ 管内病院からの届出等の状況 (単位：件)

種別 年度	医療保護入 院届(家族 等の同意)	応急入院 届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
平成27年度	593	4	647	13	12	199	-
平成28年度	629	8	602	12	11	161	1
平成29年度	615	5	511	13	11	176	-

※ その他は、転院許可申請 (-)件、仮退院申請(-)件、再入院届(-)件の合計

(2) 措置入院関係

各申請・届出・通報を受理した際は、精神保健指定医や指定病院、警察署等の協力を得て、迅速な対応に努めた。措置診察の必要がないと認めた者についても、必要に応じて受療援助等の支援を行った。

表9－（2）－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況 (単位：件)

処 理 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当症 状の者	その他 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成27年度	47	32	13	-	-	6	-	2	-	-	4
平成28年度	69	53	13	-	1	3	-	2	-	1	4
平成29年度	51	36	13	-	2	4	-	2	-	-	3
法第22条 一般人からの申請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第23条 警察官からの通報	29	20	6	-	-	4	-	1	-	-	3
法第24条 検察官からの通報	7	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-
法第25条 保護観察所の長からの通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条 矯正施設の長からの通報	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療機 関管理者及び保護観察所長から の通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

表9－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名 (単位：件)

病名 年度結果	総数	統合失調症等	気分障害	器質性精神障害		中毒性精神障害			神経症性障害等	パーソナリティ障害	知的障害	てんかん	その他の精神障害	その他
				認	そ	ア	覚	そ						
				知	の	ル	せ	の						
				症	他	コ	い	他						
				F0		F1								
		F2	F3	F00～F03	F04～F09	F10	F15		F4	F6	F7	G40		
平成27年度	15	10	1	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
平成28年度	16	9	3	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
平成29年度	15	9	3	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
診察実施	要措置	13	8	3	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	不要措置	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

- ※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 1名
- 2 緊急措置入院中に措置解除措置解除となった者 0名
- 3 その他には病名不詳を含む。
- 4 F0～F9、G40 は、世界保健機関 (WHO) の国際疾病分類 (ICD カテゴリー) の分類。

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数 (各年3月31日現在) (単位：人)

入院期間 年度	総数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成27年度	7	3	-	2	2
平成28年度	6	1	-	2	3
平成29年度	7	2	-	1	4

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等 (各年3月31日現在) (単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年 齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～ 39歳	40歳～ 64歳	65歳以上	不明	
相談	1	1	-	-	-	1	-	-	-	3
訪問	10	7	3	-	-	3	7	-	-	19
電話	40	34	6	-	-	16	22	2	-	211

(3) 医療保護入院のための移送（法34条）

平成11年の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正により規定されたが、当管内での事例はない。

表9－（3）医療保護入院のための移送処理状況（単位：件）

年度	区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成27年度		—	—	—
平成28年度		—	—	—
平成29年度		—	—	—

(4) 自立支援医療（精神通院）及び保健福祉制度関係

自立支援医療（精神通院）利用者及び精神障害者保健福祉手帳所持者は、増加傾向にある。

表9－（4）－ア 自立支援医療（精神通院医療）利用者数（各年3月31日時点）

（単位：人）

年度・市町村	利用者数
平成27年度	4,497
平成28年度	4,579
平成29年度	4,699
木更津市	1,854
君津市	1,215
富津市	658
袖ヶ浦市	972

表9－（4）－イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年3月31日現在）

（単位：人）

年度	計	1級	2級	3級
平成27年度	1,627	227	988	412
平成28年度	1,708	223	1,049	436
平成29年度	1,781	231	1,080	470
木更津市	769	98	462	209
君津市	434	53	263	118
富津市	275	41	171	63
袖ヶ浦市	303	39	184	80

表9－(4)－ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況 (単位：件)

年度	区分	生計同一証明書・常時介護証明書 発行件数
平成27年度		7
平成28年度		17
平成29年度		14

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

嘱託医相談は定例で月2回実施、電話・来所相談は随時対応した。事例に応じて受療援助を行うなどの支援を実施した。

表9－(5)－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第1木曜日	午後2時00分から16時00分	健康福祉センターで実施するが、年3回は管内各市において出張相談を実施している。
毎月 第4水曜日	午後2時00分から16時00分	

表9－(5)－イ 対象者の性・年齢 (単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年齢						延回数
		男	女	不明	20歳未満	39歳	20歳～ 64歳	40歳～ 65歳以上	不明		
平成27年度	119	60	59	-	3	30	63	19	4	343	
平成28年度	142	83	58	1	4	40	80	13	5	245	
平成29年度	55	38	17	-	10	10	23	11	1	323	
木更津市	20	14	6	-	1	7	7	4	1	157	
君津市	10	7	3	-	1	2	5	2	-	58	
富津市	14	12	2	-	8	-	5	1	-	51	
袖ヶ浦市	5	1	4	-	-	-	2	3	-	38	
管外・不明	6	4	2	-	-	1	4	1	-	18	
相談	43	27	16	-	2	8	22	10	1	162	
不明	12	11	1	-	8	2	1	1	-	166	

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(5)－ウ 電話・メール相談延件数 (単位：件)

	計	男	女	不明
電話	973	609	358	9
メール	—	—	—	—

表9－(5)－エ 相談の種別 (延数) (単位：件)

種別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		関診する療科に	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒								
平成27年度	343	137	13	64	79	6	0	3	1	0	0	10	27	0	3	
平成28年度	244	149	6	41	22	7	0	1	1	0	4	5	8	0	1	
平成29年度	324	157	32	98	22	0	0	1	0	0	3	3	4	1	3	
相談	計	162	46	12	73	16	0	0	1	0	0	3	3	1	0	2
	男	123	30	7	66	11	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1
	女	39	16	5	7	5	0	0	0	0	0	3	1	0	1	
訪問	計	166	111	20	25	6	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1
	男	107	70	19	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	59	41	1	12	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1

表9－(5)－オ 援助の内容 (延数) (単位：件)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活支援・生活指導	社会復帰援助	照会・連絡	関係機関調整・方針協議	その他
平成27年度	348	0	50	42	5	232	18	1
平成28年度	251	7	32	18	1	172	21	0
平成29年度	349	6	94	94	19	18	102	16

(注) 援助内容は重複あり

(6) 精神障害者社会復帰関係

平成 27 年度に社会復帰支援事業（デイケアクラブ）を終了し、平成 28・29 年度はフォローアップを兼ねた同窓会を実施した。

表9－(6)－ア デイケアクラブ

実施日	開催時間	内容
6月13日 12月12日	午前10時00分から 午後14時00分	茶話会を通じたグループ活動の他、参加者の社会参加に関する相談やミーティングを実施した。

表9－(6)－イ デイケアクラブの活動状況 (単位：人)

区分 年度	開催 回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成27年度	12	17	8	9	90	40	50
平成28年度	2	6	3	3	10	5	5
平成29年度	2	7	4	3	10	4	6

表9－(6)－ウ 当事者支援の実施状況 (単位：人)

区分 年度	開催 回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成27年度	—	—	—	—	—	—	—
平成28年度	—	—	—	—	—	—	—
平成29年度	—	—	—	—	—	—	—

(7) 地域精神保健福祉関係

管内関係機関との連携強化のため、各連絡会議を実施した。
 また、酒害相談事業（断酒学級）・自殺対策事業（うつ病体験者と家族の集い）を定期開催した。
 （うつ病体験者と家族の集いの実績はP 4 9に記載）

表9－（7）－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
君津・市原管内指定 病院合同連絡会議	12月15日	11	管内精神科病院ソーシャルワーカー
精神保健福祉連絡会議	12月1日	19	管内精神科医療機関医師・ソーシャルワーカー・各市障害福祉担当職員・管内警察生活安全課長等

表9－（7）－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内容
		実件数	延件数	
断酒学級	毎月第1火曜日	34	96	ミーティング

表9－（7）－ウ 組織育成 (単位：件)

種別 区分	総数	家族会	断酒会	その他
支援件数	11	11	—	—

(8) 心神喪失者等医療観察法関係

心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の対象者に対し、保護観察所が主催する処遇検討会議へ出席し、地域における支援について協議を行った。

表9－（8） 医療観察法に係る会議への参加 (単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	4	5	—

- ・平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター（保健所）においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA会議(Care Programme Approach の略)とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成27年度	151	12	273
平成28年度	185	-	186
平成29年度	185	-	163
木更津市	62	-	64
君津市	66	-	48
富津市	19	-	29
袖ヶ浦市	38	-	22

11 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患(56疾患)の患者に対し、医療費助成していたが、平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)が施行され、厚生労働大臣の定める疾患に拡大された。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表11－(1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位：件)

年度・市町村別	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	木 更 津 市	君 津 市	富 津 市	袖 ヶ 浦 市
疾患名 下段：重症(内数)							
総数	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
32 重症急性膵炎	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

表 1 1 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位 : 件)

年度・市別 疾患名 下段：重症(内数)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	木 更 津 市	君 津 市	富 津 市	袖 ヶ 浦 市
総 数	2376	2429	2209	848	631	348	382
1 球脊髄性筋萎縮症	2	2	-	-	-	-	-
	1	1	-	-	-	-	-
2 筋萎縮性側索硬化症	25	25	24	13	5	4	2
	11	2	-	-	-	-	-
3 原発性側索硬化症	2	2	1	-	-	-	1
	1	1	-	-	-	-	-
5 進行性核上性麻痺	21	20	24	9	7	2	6
	1	-	-	-	-	-	-
6 パーキンソン病	251	262	265	98	73	48	46
	32	26	-	-	-	-	-
7 大脳皮質基底核変性症	9	9	5	3	1	1	-
	6	3	-	-	-	-	-
8 ハンチントン病	5	5	5	1	1	2	1
	2	2	-	-	-	-	-
11 重症筋無力症	72	70	56	24	13	10	9
	2	-	-	-	-	-	-
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	46	51	46	24	12	4	6
	16	15	-	-	-	-	-
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／ 多巣性運動ニューロパチー	7	6	4	-	3	-	1
	2	1	-	-	-	-	-
15 封入体筋炎	1	1	1	-	1	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
17 多系統萎縮症	26	24	25	12	5	4	4
	10	8	-	-	-	-	-
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	54	54	51	17	13	13	8
	24	23	-	-	-	-	-
19 ライゾーム病	2	2	1	1	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-
20 副腎白質ジストロフィー	1	1	-	-	-	-	-
	1	1	-	-	-	-	-
21 ミトコンドリア病	2	2	2	-	2	-	-
	1	1	-	-	-	-	-
22 もやもや病	31	31	23	8	5	4	6
	6	5	-	-	-	-	-
23 プリオン病	-	1	2	1	1	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
26 HTLV-1 関連脊髄症	4	3	4	2	2	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
28 全身性アミロイドーシス	8	7	4	2	1	-	1
	2	1	-	-	-	-	-
30 遠位型ミオパチー	2	1	1	1	-	-	-
	-	1	-	-	-	-	-
34 神経線維腫症	8	7	7	6	1	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
35 天疱瘡	16	15	8	2	2	3	1
	-	-	-	-	-	-	-
36 表皮水疱症	-	-	1	1	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
37 膿疱性乾癬 (汎発型)	5	6	3	2	-	1	-
	-	-	-	-	-	-	-

38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	-	1	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
40	高安動脈炎	20	17	14	6	3	3	2
		3	3	-	-	-	-	-
41	巨細胞性動脈炎	-	2	2	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-
42	結節性多発動脈炎	10	8	5	1	2	1	1
		-	-	-	-	-	-	-
43	顕微鏡的多発血管炎	23	22	20	6	3	9	2
		6	4	-	-	-	-	-
44	多発血管炎性肉芽腫症	7	10	13	4	4	3	2
		-	-	-	-	-	-	-
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	4	6	1	2	1	2
		-	-	-	-	-	-	-
46	悪性関節リウマチ	27	26	23	8	9	3	3
		11	9	-	-	-	-	-
47	バージャー病	9	7	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
49	全身性エリテマトーデス	182	187	180	63	58	22	37
		6	6	-	-	-	-	-
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	64	67	66	23	22	9	12
		4	3	-	-	-	-	-
51	全身性強皮症	94	97	89	30	27	11	21
		2	2	-	-	-	-	-
52	混合性結合組織病	30	30	31	13	7	6	5
		2	2	-	-	-	-	-
53	シェーグレン症候群	5	12	14	4	3	3	4
		-	-	-	-	-	-	-
54	成人スチル病	2	4	5	1	2	-	2
		-	-	-	-	-	-	-
55	再発性多発軟骨炎	1	1	1	-	1	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
56	ベーチェット病	51	51	42	15	18	3	6
		9	6	-	-	-	-	-
57	特発性拡張型心筋症	50	52	39	15	8	7	9
		7	7	-	-	-	-	-
58	肥大型心筋症	2	2	2	-	2	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
60	再生不良性貧血	33	31	28	10	7	4	7
		-	-	-	-	-	-	-
61	自己免疫性溶血性貧血	2	2	3	-	1	1	1
		-	-	-	-	-	-	-
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	-	1	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
63	特発性血小板減少性紫斑病	59	63	57	24	13	8	12
		-	-	-	-	-	-	-
65	原発性免疫不全症候群	4	4	5	2	2	-	1
		-	-	-	-	-	-	-
66	IgA腎症	16	21	28	5	11	5	7
		-	-	-	-	-	-	-
67	多発性嚢胞腎	14	22	33	12	7	7	7

	-	-	-	-	-	-	-
68 黄色靱帯骨化症	14	17	20	9	8	1	2
	1	1	-	-	-	-	-
69 後縦靱帯骨化症	122	116	109	40	35	23	11
	20	16	-	-	-	-	-
70 広範脊柱管狭窄症	5	6	5	1	3	-	1
	-	-	-	-	-	-	-
71 特発性大腿骨頭壊死症	51	54	51	24	11	10	6
	2	2	-	-	-	-	-
72 下垂体性 ADH 分泌異常症	5	6	8	4	1	-	3
	-	-	-	-	-	-	-
73 下垂体性 TSH 分泌亢進症	1	2	3	1	2	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
74 下垂体性 PRL 分泌亢進症	16	13	15	5	3	1	6
	-	-	-	-	-	-	-
75 クッシング病	1	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15	16	14	6	4	3	1
	-	-	-	-	-	-	-
78 下垂体前葉機能低下症	39	44	41	16	7	4	14
	-	-	-	-	-	-	-
84 サルコイドーシス	50	54	36	18	7	7	4
	3	3	-	-	-	-	-
85 特発性間質性肺炎	16	20	26	10	8	4	4
	-	-	-	-	-	-	-
86 肺動脈性肺高血圧症	6	5	6	3	1	1	1
	-	-	-	-	-	-	-
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	10	10	11	3	5	-	3
	2	2	-	-	-	-	-
89 リンパ脈管筋腫症	3	3	3	1	1	1	-
	-	-	-	-	-	-	-
90 網膜色素変性症	94	86	76	15	30	13	18
	54	46	-	-	-	-	-
91 バッド・キアリ症候群	3	2	2	-	1	-	1
	1	1	-	-	-	-	-
93 原発性胆汁性胆管炎	70	70	54	25	12	13	4
	2	-	-	-	-	-	-
94 原発性硬化性胆管炎	-	1	2	1	1	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
95 自己免疫性肝炎	7	8	9	2	4	2	1
	-	-	-	-	-	-	-
96 クローン病	103	103	96	38	32	11	15
	-	-	-	-	-	-	-
97 潰瘍性大腸炎	403	392	280	117	78	48	37
	1	1	-	-	-	-	-
98 好酸球性消化管疾患	1	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
107 若年性特発性関節炎	1	1	1	1	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
113 筋ジストロフィー	1	3	4	1	2	-	1
	-	-	-	-	-	-	-
117 脊髄空洞症	1	2	2	-	-	1	1
	-	-	-	-	-	-	-

119	アイザックス症候群	1	1	1	-	1	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	1	1	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
145	ウエスト症候群	1	1	1	-	1	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
158	結節性硬化症	1	2	2	-	-	1	1
		-	-	-	-	-	-	-
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	8	5	8	5	1	-	2
		-	-	-	-	-	-	-
163	特発性後天性全身性無汗症	1	1	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
167	マルファン症候群	1	1	1	-	1	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
182	アペール症候群	-	-	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
191	ウェルナー症候群	1	2	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
208	修正大血管転位症	-	-	1	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-
210	単心室症	1	1	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
212	三尖弁閉鎖症	1	1	2	-	1	1	-
		-	-	-	-	-	-	-
215	ファロー四徴症	1	2	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
218	アルポート症候群	-	-	2	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-	-
222	一次性ネフローゼ症候群	3	7	12	10	-	-	2
		-	-	-	-	-	-	-
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	1	3	-	2	-	1
		-	-	-	-	-	-	-
227	オスラー病	1	1	1	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-
230	肺胞低換気症候群	-	-	1	-	1	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
252	リジン尿性蛋白不耐症	2	2	2	1	1	-	-
					1	-	-	-
254	ポルフィリン症	1	1	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
271	強直性脊椎炎	5	7	11	6	3	-	2
		-	-	-	-	-	-	-
276	軟骨無形成症	-	1	1	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	-	-	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
296	胆道閉鎖症	-	1	1	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-
300	I g G 4 関連疾患	-	-	1	-	1	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
306	好酸球性副鼻腔炎	2	5	7	6	1	-	-

310 先天異常症候群	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	1	-	1	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表11-(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位:人)

年度	総数	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
平成27年	9	3	5	-	1
平成28年	8	1	6	-	1
平成29年	9	1	7		1

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表11-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成27年度	-	-	-	-	-	-	-	-
平成28年度	1	1	-	-	-	-	2	9
平成29年度	3	3	1	1	5	-	4	19

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表11-(4)-イ-(ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実人員	延人員
平成27年度	3	28	17	28
平成28年度	5	13	10	13
平成29年度	2	37	9	37

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 1 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

年度	区分 月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 27 年度	4 月 13 日	事例検討会	保健師・看護師	3
平成 28 年度	4 月 22 日	事例検討会	保健師・看護師	5
	3 月 3 日	パーキンソン病についての講演会	保健師・看護師 ケアマネジャー等	73
平成 29 年度	4 月 17 日	事例検討会	保健師	6

ウ 医療相談事業

表 1 1 - (4) - ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加 人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事 者人数
【個別】 更新申請 に合わせて 38日間 実施	214	君津健康 福祉セン ター	指定難病 患者と家 族	・看護、日常生活に関するこ と ・病気、病状に関するこ と ・申請に関するこ と	1
【集団】 平成 29 年 7 月 7 日	12	君津健康 福祉セン ター	脊髄小脳 変性症の 患者と家 族	講演 ①「安心・安全な食事のとり方 ～飲み込みやすい食事方法につ いて～」 ②「リハビリテーションについて ～実技～」 講師 君津中央病院 ①理学療法士 児玉 美香氏 ②管理栄養士 船橋 寿恵氏	2

エ 訪問指導事業

表 1 1 - (4) - エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾 患 名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総 数	34	11	18
ベーチェット病	—	—	—
多発性硬化症	—	—	1
重症筋無力症	1	—	—
スモン	—	—	—
サルコイドーシス	—	—	—
再生不良性貧血	—	—	—
筋萎縮性側索硬化症	26	3	13
全身性強皮症	—	—	—
皮膚筋炎/多発性筋炎	—	—	—
結節性動脈周囲炎	—	—	—
ビュルガー病	—	—	—
脊髄小脳変性症	3	5	—
悪性関節リウマチ	—	—	—
パーキンソン病	3	—	2
アミロイドーシス	—	—	—
後縦靭帯骨化症	—	—	—
ハンチントン病	—	—	—
もやもや病	—	—	—
多系統萎縮症	1	2	1
広範脊柱管狭窄症	—	—	—
特発性間質性肺炎	—	—	—
特発性大腿骨頭壊死症	—	—	—
網膜色素変性症	—	1	—
プリオン病	—	—	—
副蛋白質ジストロフィー	—	—	—
ライソゾーム病	—	—	1

オ 訪問診療等事業

表 1 1 - (4) - オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従事者人数						
	実人員	延人員		専門医	主治医	看護師	法 士 等	理 学 療	保 健 師	そ の 他
平成 27 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 28 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 29 年度	1	1	コミュニケー ションツールの調整	-	-	-	-	-	-	1

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ 窓口相談事業

表 1 1 - (4) - カ 相談内容 (単位：人)

内 容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
相談者数 (延)	905	887	391
申請等	876	877	382
医療	8	3	2
家庭看護	16	5	3
福祉制度	5	1	-
就業	-	-	-
就学	-	-	-
食事・栄養	-	-	-
歯科	-	-	-
その他	-	1	4

キ 難病対策地域協議会

表 1 1 - (4) - キ 難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員 (職種)	延人数	内容
-	-	-	-	-

1 2 市町村支援

管内市の健康づくり推進協議会及び要保護児童対策実務者会議等、広域的な視点から管内市の事業の円滑な推進が図られるように支援を行った。

(1) 市町村への支援状況

表 1 2 - (1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡				技 術 的 支 援		
	会 議 名	回 数	職 種	主 な テ ー マ	事 業 名	回 数	職 種
木更津市	木更津市健康づくり推進協議会	1	医	・市の健康課題と第3次健康きさらづ 21 の進捗状況			
	木更津市要保護児童対策地域協議会 代表者会議 実務者会議	9	保	・要保護児童の処遇検討 ・講演「心に困難を抱える保護者と子ども虐待」～子ども虐待の支援を考える～	—	—	—
君津市	君津市健康づくり推進協議会	1	医	・第2次健康きみつ 21 について ・平成 28 年度事業実績 ・平成 29 年度事業計画			
	君津市子どもを守る地域ネットワーク代表者会議	1	医	・平成 29 年度事業計画 ・要保護児童への対応	—	—	—
	君津市子どもを守る地域ネットワーク実務者会議	8	保	・要保護児童の処遇検討			
富津市	富津市健康づくり推進協議会	1	医	・平成 28 年度事業実績 ・平成 29 年度事業計画			
	富津市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	次	・児童虐待の状況 ・関係機関の対応事例	—	—	—
	富津市児童虐待事例にかかわる実務者会議	4	保	・要保護児童の処遇検討			

袖ケ浦市	袖ケ浦市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	医	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度事業計画 ・袖ケ浦市要保護児童対策地域協議会設置要綱の改正 ・児童虐待及び関係機関の状況 ・袖ケ浦市要保護児童対策 ・講演 			
	袖ケ浦市児童福祉支援対策地域協議会実務者会議	2	保	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童の処遇検討 	—	—	—
	袖ケ浦市子ども・子育て支援会議	2	課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施策について ・保育施設の利用定員について 			

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）